

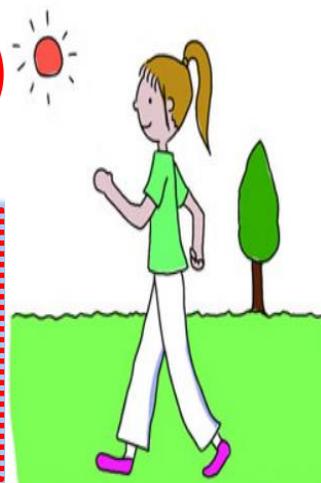
第63回 患者中心の医療を学ぶ会

病気を持つ人の自己管理を支える 自己効力理論と 慢性疾患セルフマネジメントプログラム

NPO法人日本慢性疾患セルフマネジメント協会
事務局長 武田飛呂城さん

日時:平成30年**4月18日(水)**
午後6時30分～

病気があっても **大丈夫**
セルフマネジメントで
自分らしい生活を!



場所:渋谷区文化総合センター2F学習室1

参加費:2000円(学生1000円)
ネットワーキング(参加費3000円)
参加申込み先:info@jppac.or.jp
氏名 勤務先をご記入下さい

主催



NPO法人
患者中心の医療を共に考え
共に実践する協議会

講演概要

難病やがん、生活習慣病など、慢性疾患をもつ人たちの自己管理を支援するため、米国スタンフォード大学医学部患者教育研究センターが開発した慢性疾患セルフマネジメントプログラム (CDSMP; Chronic Disease Self-Management Program)。

運動や食事、適切な服薬などの

1)治療に関する自己管理のほか、人とのコミュニケーションの取り方や無理なく目標を立てるやり方など

2)生活に関する自己管理、病気の不安やイライラ等に対処する

3)感情に関する自己管理の3つのグループの自己管理を体系的に学べます。

また、CDSMPは自己効力理論に基づいて設計されており、参加者が新しいことに対して意欲的に取り組めるよう工夫されています。現在世界20カ国以上で広がっているCDSMPについて、日本での取り組みについてご紹介しながら、病気をもち人たちの自己管理を支援する方法について話し合います。



MAP: 渋谷区桜丘町23-21
渋谷区文化総合センター2F
第一学習室



次回の学ぶ会

平成30年5月11日(金)午後6時30分

「2025年問題に向けて、患者目線で考える2018年度診療報酬改定」

講師: 松平 哲也さん 日医工(株)

文京シビックセンター会議室1